

令和4年度 多機能型事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年10月31日

事業所名 こどもホリデー

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	.	.		天気の良い日は公園などで屋外活動をしています。	クールダウンする部屋が定まっていないため、部屋の隅にコーナーを作りたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である			.	基準を満たすようシフトを調整しています。	もっと丁寧に支援したいのに手が足りないと感じる状況もあり、そのような状況が予測できる日には手厚く配置するなどしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	.	.		1階と2階はバリアフリーとなっています。	2階へは階段で、しかしそれも活動の一部と考えています。危険が無いよう職員が必ず付きそい、カバンが重い場合は少し持ち上げるなどサポートをしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	.	.		職員会議で毎月目標を設定し、日々の業務後に振り返りをしています。	会議に参加できなかった職員は記録を見て情報共有したり、事前に意見を交換しておくことで、全職員での振り返りを日々重ねていきたいと思えます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	.	.		今年度は保護者向け評価表を配布し調査を実施しました。	次年度も保護者の皆様の率直な意見を頂戴し、業務改善につなげていきたいと考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		.		自己評価をホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		.		今のところ外部評価は行っておりません。	必要に応じて行います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	.	.		内部で映像資料や専門書を活用した研修を行っています。	コロナで外部研修の機会が少なかったのですが、今後開催されれば積極的に参加したいと思えます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	.	.		個別懇談を年に2回実施し、保護者のニーズを聞きながら計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	.	.		特に決まったツールは使用していません。	必要に合ったツールが見つければ使用していきたいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	.	.		職員が順番に作成して、会議で話し合い決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	.	.		関連資料を参考にしながら、内容が固定化しないように検討・工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		.		平日と休暇時で人数に合った課題を設定しています。	長期休暇時は放デイと児発で合同の時間があり、年齢幅が大きくなっています。全員で参加する会もあれば、集団活動はプログラムを分けるなど、それぞれに合った課題を設定して実施してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	.	.		その日のメンバーと季節に応じた活動を計画しています。個別活動はその子の課題に適したもの、集団活動は楽しく出来るものを計画しています。	サービス計画の内容を全職員でしっかりと共有して支援に臨みます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	.	.		リーダーが中心となり、支援前の打ち合わせを実施し役割分担の確認をしています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		・		支援後～翌日の送迎前までに気が付いた点などを振り返り、共有をはかっています。	なるべく支援終了後その日のうちに振り返りを行いたいですが、直後は送迎等で、皆で時間を合わせられないこともあります。共有事項の漏れがないようにメモしたり、打ち合わせに出られない職員は事前にリーダーに伝えたり工夫していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・			毎日記録を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	・			年度初めに個別面談で計画を立て、半年後の個別面談でモニタリングを実施しています。	必要があれば面談時に計画の見直しをしているので、今後も定期的な面談を行い、保護者との連携を大切にまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	・	・		メンバーに必要なことを組み合わせて1か月のカリキュラムを作成し、支援しています。	天候やメンバーによりカリキュラムの変更は生じますが、月内の別日に実施しています。入職して日の浅い職員は認識が浅かったため再度共有をしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	・				開催に応じてふさわしい担当者が出席します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	・	・		学校からの情報提供があれば共有しています。	学校の送迎時は簡単な引継ぎはできますが、長くは話せません。必要に応じて学校の先生と電話で情報共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	・			主治医との直接の関わりはないが、保護者を通して随時情報を共有しています。	発作や痰など、危険をかかえている子の急変に対応できるよう、健康状態の観察がより求められるので、今後もしっかり見守りを行ってまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	・	・		主に保護者から情報をいただいています。	直接問い合わせや見学をしたいが出来ないこともあり、必要な時まずは電話でヒアリングをして情報共有を図っていききたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	・	・			まだ卒業生を出したことはありませんが、相談員から求められた場合には情報を提供しています。今後もそのように協力してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	・		・	児童発達センターの研修案内が来れば必ず参加しています。	これまでコロナの影響で開催があまりなく、今後案内があれば積極的に参加してより良い支援に繋がってまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		・	・	児童館は近くに無く、公園では近所の子どもたちと接する機会があります。一緒に鬼ごっこをしたこともあります。	屋外活動時に近所の子がいれば、安全に配慮しながら関わりを持ちたいと考えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	・			案内が来れば積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	・			連絡帳や送迎時などで、お互いに情報交換をして共通理解に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	・		・	日頃から情報交換する中で行うようにしています。	入って日の浅い職員はまだ詳しく理解していなかったため、改めて説明し、職員間で支援内容への理解を深めました。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	・			契約時に重要事項説明書を用いて丁寧に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	・			親身になって相談に応じています。	面談や日頃のやり取りで保護者との信頼関係を築き、悩みを相談できる場所としてホリデーを活用していただきたいです。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		・	・		コロナもあり全体での保護者会を実施してきませんでしたが、保護者同士のつながりや情報共有も大切なので、集まりなど機会を設けたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	・			苦情を受けたことはありませんが、お互い何でも話し合える関係を築くようにしています。	保護者アンケートでは率直な意見や感想を書いてもらい、色々な意見を受け止めてより良い支援に繋げていきたいと考えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	・	・		これまでは法人全体のお便りに「こどもホリデー」の様子も載せてきました。	今後は「こどもホリデー」の活動報告やカリキュラム等のお知らせを掲載した「こどもホリデーだより」を発行し、事業所全体の活動を保護者の皆様へお知らせしてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	・			個人情報に関することは、保護者に許可を得たうえで十分に注意して取り扱っています。	上記のお便りでも写真などの掲載内容に十分に注意したうえで発行いたします。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	・	・		まだ幼いわが子に対し、保護者の方々は期待と希望を持ち育児をしており、その気持ちを大切にしています。	個々の場合に合わせ言葉の表現には丁寧に注意を払っています。そして関わる職員全員が同じく対応できるよう、多く情報を共有し、障害について研修も重ねてまいります。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	・	・		法人全体としては、コロナの状況に配慮した範囲で行ってきました。	法人の方針として、地域で生きていくことを大切にしているので、そのような機会をこれから増やしていきたいと思っています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	・	・		マニュアルはあり、職員はそれに従い行動するように努めています。	実際の時慌てないために、必要に応じて訓練を計画して実施していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	・			定期的に訓練を実施しています。	今後はお便りに実施報告を掲載いたします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	・			虐待防止委員会が中心となって活動し、適切な対応をしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	・			現在、拘束の対象者はいません。	もし必要があると思われる場合は、事前に保護者に了解を求めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	・	・		現在、利用者にアレルギーのある子はいません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	・	・		事業所内で共有しています。	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。